被害把握ツール操作マニュアル（Web）
【災害時被害調査集計】

1.0 版

令和８年４月１日

目次

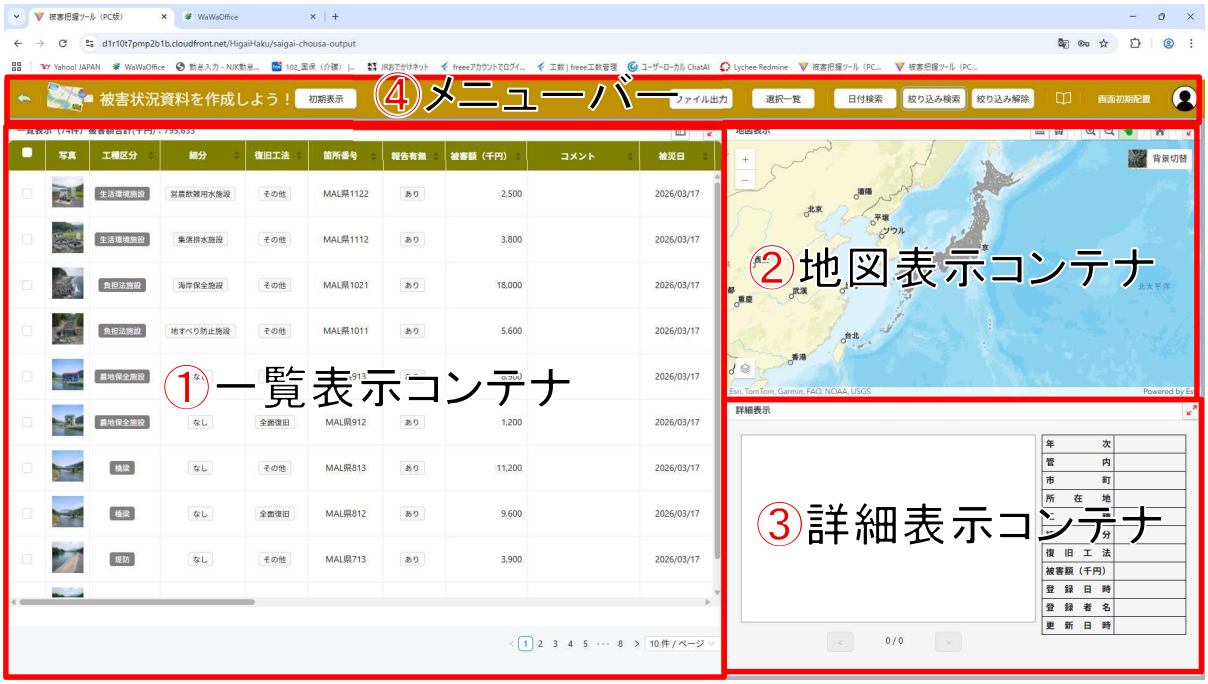
1　被害状況資料作成 1
1.1　機能概要 1
1.2　コンテナの大きさ・位置変更 4
1.3　一覧表示コンテナの表示・操作について 6
1.4　地図表示コンテナの表示・操作について 9
1.5　詳細表示コンテナの表示・操作について 12
2　報告資料の作成 13
2.1　被害調査データの検索 13
2.2　被害調査データの選択 17
2.3　報告資料の出力 24

1 被害状況資料作成

1.1 機能概要

被害状況資料作成は、災害時被害調査データ（以下、被害調査データ）から報告用の資料を作成する機能です。選択した調査内容と位置情報を PowerPoint にして出力します。

1. 「被害状況資料作成」画面の内容



一覧表示コンテナ

アプリ・PC で登録された被害調査データを一覧に表示します。

左端のチェックボックスで報告用資料（PowerPoint）の作成対象を選択します。

複数の都道府県もしくは全国（管轄がない）を管轄しているユーザーは、初期表示では被害調査データが一覧に表示されません。「日付検索」にて登録日の範囲を指定、もしくは、「絞り込み検索」にて絞り込み条件を入力して検索してください。

（参考）【2 報告資料の作成】－【2.1 被害調査データの検索】

（参考）【1 被害状況資料作成】－【1.3 一覧表示コンテナの表示・操作について】

地図表示コンテナ

一覧表示コンテナに表示されている被害調査データの左端チェックボックスを☑（選択）すると登録位置が地図上に表示されます。

複数の都道府県もしくは全国（管轄がない）を管轄しているユーザーは、初期表示では管轄している都道府県全体の中心付近が表示されます。

（参考）【2 報告資料の作成】－【2.1 被害調査データの検索】

（参考）【1 被害状況資料作成】－【1.4 地図表示コンテナの表示・操作について】

詳細表示コンテナ

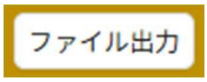
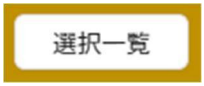
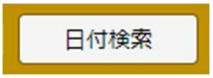
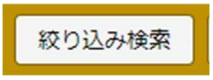
一覧表示コンテナや地図表示コンテナで被害調査データを選択すると、選択した被害調査データの情報と写真・動画を表示します。

（参考）【1 被害状況資料作成】－【1.5 詳細表示コンテナの表示・操作について】

メニューバー

絞り込み検索条件の設定および報告用ファイルの出力を行います。

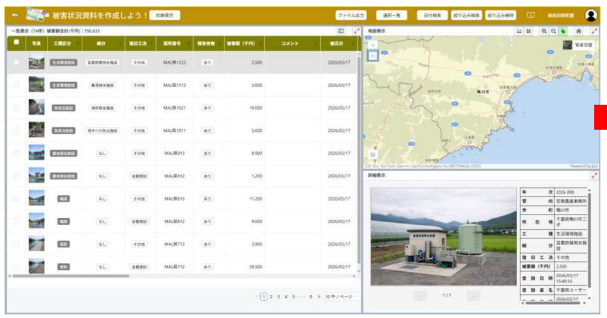
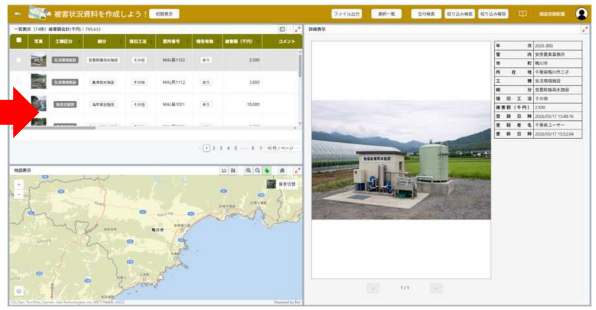


No	項目	説明
①	戻る 	メニュー画面に戻ります。
②	初期表示 	「日付検索」「絞り込み検索」による絞り込み状態や選択状態をすべて解除し、ログイン時の初期表示に戻します。
③	ファイル出力 	選択した被害調査データから報告用資料（PowerPoint）を作成します。 （参考）【2 報告資料の作成】－【2.3 報告資料の出力】
④	選択一覧 	選択している被害調査データの一覧を表示します。 （参考）【2 報告資料の作成】－【2.2 被害調査データの選択】
⑤	日付検索 	絞り込み検索に設定している検索条件に、選択した期間の登録日の検索条件を追加して検索します。 （参考）【2 報告資料の作成】－【2.2 被害調査データの選択】－【3 日付検索】
⑥	絞り込み検索 	被害調査データを絞り込み検索します。 （参考）【2 報告資料の作成】－【2.2 被害調査データの選択】－【1 絞り込み検索】
⑦	絞り込み解除 	絞り込み検索の条件が未設定の状態と同じ検索をします。 ※設定されている絞り込み検索の条件は初期化されません。 （参考）【2 報告資料の作成】－【2.2 被害調査データの選択】－【2 絞り込み解除】

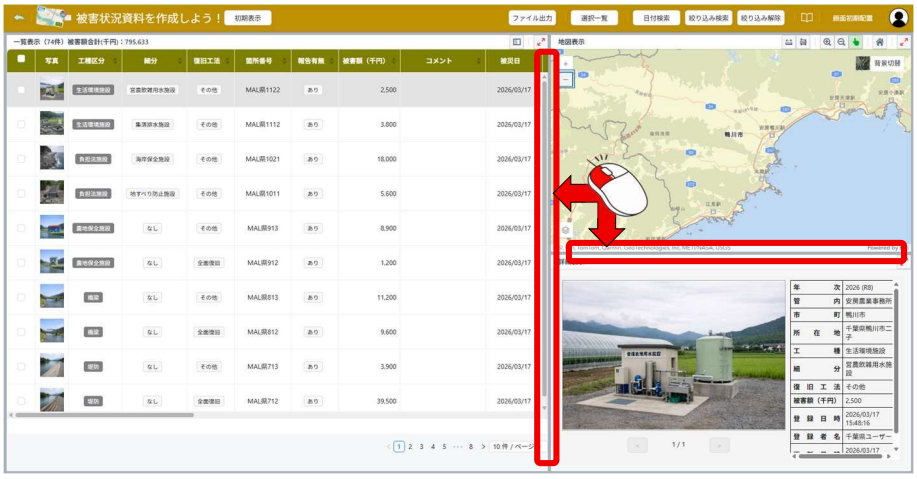
⑧		マニュアルを表示します。
⑨	画面初期配置 	各コンテナの大きさや位置を変更している場合に、各コンテナを初期配置に戻します。 （参考）【1 被害状況資料作成】ー【1.2 コンテナの大きさ・位置変更】
⑩	ユーザー情報表示 	ログインしているユーザーの情報を表示します。

1.2 コンテナの大きさ・位置変更

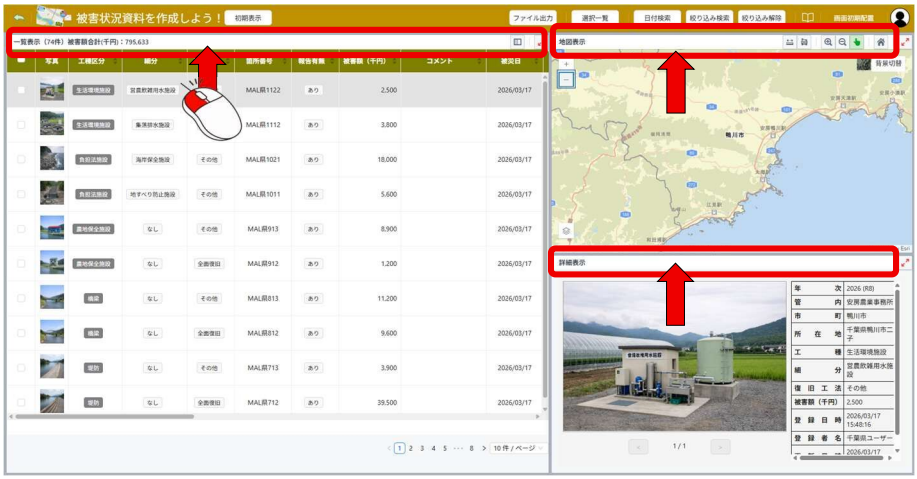
1. 大きさ・位置の変更

初期表示	大きさ・位置変更後
	

各コンテナの枠をドラッグすると各コンテナの大きさを変更できます。

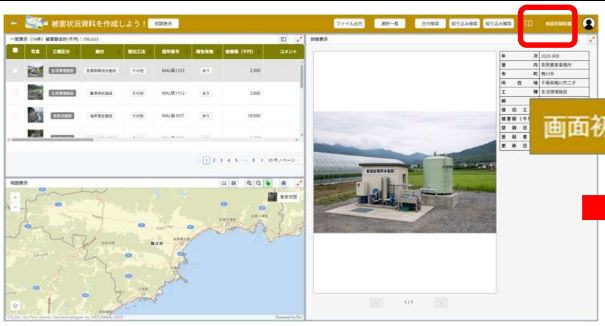
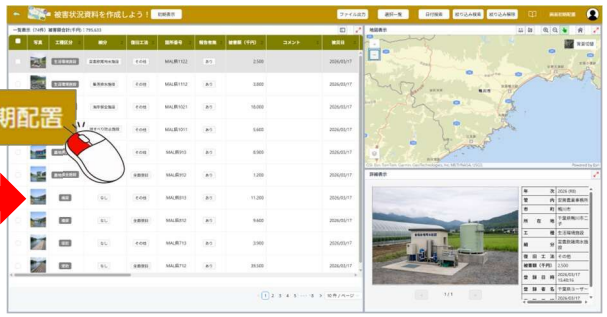


各コンテナのタイトル部分をドラッグ＆ドロップすることで、各コンテナの大きさや位置を変更できます。



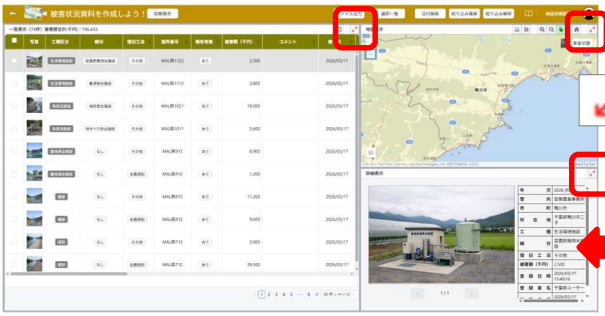
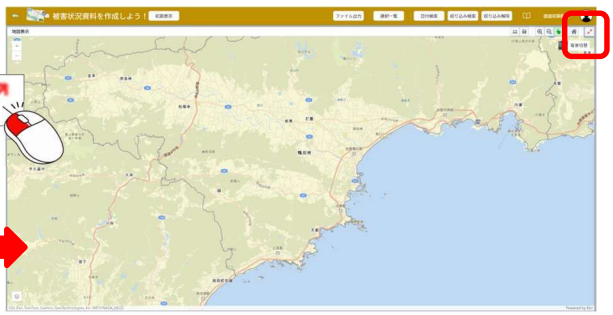
2.画面初期配置

メニューの画面初期配置ボタンを押すことで、各コンテナを初期表示の大きさ・位置に戻します。

大きさ・位置変更時	画面初期配置クリック時
	

3.最大化

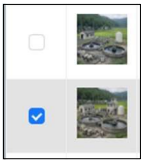
最大化ボタンを押すことで、各コンテナの最大表示ができます。

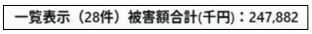
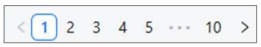
初期表示	最大表示後
	

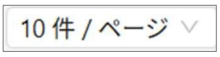
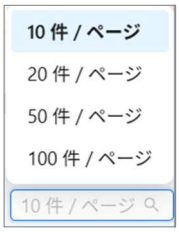
1.3 一覧表示コンテナの表示・操作について

一覧表示コンテナでは、被害調査データの登録情報や被害額を一覧に表示します。



No	項目	説明
①	選択チェック  	被害調査データの左端チェックボックスを□（未選択）から☑（選択）にすると報告資料に出力されます。 ※見出し行の左端チェックボックスを□（未選択）から☑（選択）にすると、同一ページに表示されている被害調査データが全選択されます。□（未選択）にすると同一ページに表示されている被害調査データが全解除されます。 ※「初期表示」ボタンをクリックして初期表示すると、☑（選択）状態も初期化されます。 ※☑（選択）後に「絞り込み検索」「日付検索」「絞り込み解除」ボタンによる再検索を行い、一覧表示に表示されなくなっても、先に☑（選択）した被害調査データは☑（選択）状態が維持されています。

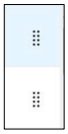
②	表示項目	被害調査データの情報を表示します。 【添付情報】 写真(1 枚目)、写真枚数、動画数、補足資料数 ※写真枚数、動画数、補足資料数は初期設定では非表示となります。表示する場合は、⑤表示列変更により非表示から表示に変更してください。 【入力情報】 工種、細分、復旧工法、箇所番号、報告有無、被害額、コメント、被災日、被災の種類、営農・生活への影響、営農・生活への影響の程度、人的被害、住民への影響、被害面積、応急対応の必要性、MAFF-SAT、都道府県名、市区町村名、所在地 【登録情報】 登録者名(登録 ID)、登録区分(WEB/アプリ)、登録日時、更新日時
③	並び順変更ボタン 	被害調査データの並び順を見出し行の各項目をクリックして昇順・降順に並び替えます。 ・1 度目のクリックで、昇順になります。 ・2 度目のクリックで、降順になります。 ・3 度目のクリックで、元に戻ります。 ※見出し行の各項目をマウスでドラッグして横方向に移動すると、列の表示位置を入れ替えることができます。
④	被害額合計 	一覧に表示されている全被害調査データの件数および被害額の合計を千円単位で表示します。
⑤	表示列変更ボタン 	表示項目の表示・非表示を変更します。
⑥	最大化ボタン 	一覧表示コンテナの表示領域を最大化します。
⑦	(行選択)	一覧表示コンテナで被害調査データをクリックすると、選択した行の背景色がグレーになり、地図表示コンテナと詳細表示コンテナに登録内容が反映されます。 ・地図表示コンテナ:地図の中心地点が一覧表示コンテナで選択した被害調査データの登録位置に変更されます。なお、地図上に登録位置のポイントを表示させるには左端チェックボックスを☑(選択)する必要があります。 ・詳細表示コンテナ:一覧表示コンテナで選択した被害調査データの登録内容と写真・動画の一覧が表示されます。
⑧	表示ページ 	現在表示中のページ数を表示します。クリックすると、該当ページの情報を表示します。

⑨	表示件数/ページ 	1ページ当たりの表示件数を変更します。 初期表示時は「10 件/ページ」が設定されています。 

表示列変更ボタン

一覧表示コンテナに表示する項目や表示順の変更ができます。



No	項目	説明
①	表示列選択 	一覧表示コンテナへの表示・非表示を変更します。 見出し行（項目名）の左端チェックボックスを☑（選択）すると全表示となり、□（未選択）にすると全非表示に変わります。 各項目の左端チェックボックスを☑（選択）すると表示となり、□（未選択）にすると非表示に個別に変わります。
②	表示順変更 	一覧表示コンテナへの表示順（列位置）を変更します。 マウスでドラックして上下に移動することで、表示順（列位置）を変更できます。
③	キャンセルボタン 	変更内容を破棄して、「表示列の変更」画面を閉じます。
④	設定ボタン 	変更内容を適用して「表示列の変更」画面を閉じます。

1.4 地図表示コンテナの表示・操作について

地図表示コンテナでは、被害調査データの登録地点を地図上に表示します。



No	項目	説明
①	レイヤ切替ボタン 	クリックすると地図に表示する凡例の一覧が表示され、表示・非表示の切り替えができます。   各見出し部分の目のアイコンをクリックすると地図上の表示・非表示が切り替わります。 各見出し部分のリストのアイコンをクリックすると凡例の詳細情報を折り畳みます。

②	背景図切替ボタン 	クリックすると背景の選択画面が表示され、地図の背景図を切り替えることができます。 表示可能な背景図は以下の 4 種類です。 ・衛星画像 （ESRI） ・道路地図 （ESRI） ・白地図 （背景図なし） ・標準地図 （国土地理院）
③	被害調査データの登録地点の表示 	一覧表示の左端チェックボックスを☑（選択）すると、選択した被害調査データの登録地点に工種別に色分けしたポイントが表示されます。 ※ポイントの上に表示される番号は、報告書に出力される並び順で、「選択一覧」ボタンクリックで表示される「選択一覧」画面で調整できます。
④	拡大縮小ボタン 	地図の表示縮尺を「＋」で拡大し、「－」で縮小します。 マウスで地図をドラッグして動かすことで地図の位置を変更できます。 ※地図の拡大・縮小はマウスのスクロールホイールでも可能です。
⑤	距離計測ボタン 	クリックするとボタンの背景色が変わり、距離計測モードになります。 もう一度クリックすると背景の色が戻り距離計測モードが終了します。 ・ボタンの背景色が変わった後、最初のクリックで計測開始座標を指定します。 ・2 回目以降のクリックで計測座標の中間地点を追加します。 ・計測する最終地点でダブルクリックして計測終了座標を決定します。 ※距離の表示単位は変更可能です。 

⑥	面積計測ボタン 	クリックするとボタンの背景色が変わり、面積計測モードになります。 もう一度クリックすると背景の色が戻り面積計測モードが終了します。 ・任意の回数クリックして計測座標を追加します。 ・最後の計測座標でダブルクリックして計測範囲を決定します。 ※面積の表示単位は変更可能です。 
⑦	拡大ボタン 	クリックするとボタンの背景色が変わり、地図拡大モードになります。 もう一度クリックすると背景の色が戻り地図拡大モードが終了します。 地図拡大モード中は地図をマウスでクリックしたり、マウスで範囲指定すると地図が拡大されます。 ※基本的にマウスのスクロールホイールと同じ動作になります。
⑧	縮小ボタン 	クリックするとボタンの背景色が変わり、地図縮小モードになります。 もう一度クリックすると背景の色が戻り地図縮小モードが終了します。 地図縮小モード中は地図をマウスでクリックしたり、マウスで範囲指定すると地図が縮小されます。 ※基本的にマウスのスクロールホイールと同じ動作になります。
⑨	移動ボタン 	クリックするとボタンの背景色が変わり、地図移動モードになります。 地図上でマウスをドラッグ（マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす）により地図の表示位置を移動させることができます。
⑩	ホームボタン 	クリックすると現在位置が管轄する都道府県の中心になるように再表示されます。
⑪	最大化 	地図表示コンテナの表示領域を最大化します。

1.5 詳細表示コンテナの表示・操作について

詳細表示コンテナでは、一覧表示コンテナで選択した被害調査データの詳細情報が閲覧できます。





No	項目	説明
①	写真・動画表示領域	被害調査データに添付されている写真・動画が表示されます。
②	枚数／総枚数 1 / 1	被害調査データに添付されている写真・動画の枚数／総枚数が表示されます。
③	写真・動画切替ボタン < >	表示する写真・動画を切り替えます。 （添付されている写真・動画が2件以上存在する場合に有効になります）
④	届出情報表示	被害調査データの届出情報が表示されます。
⑤	最大化ボタン	詳細表示コンテナの表示領域を最大化します。

2 報告資料の作成

報告資料（PowerPoint）を作成します。

2.1 被害調査データの検索

検索条件を設定して報告対象とする被害調査データを検索します。

1. 絞り込み検索

メニューの「絞り込み検索」ボタンをクリックすると、絞り込み検索画面が表示されます。
各検索条件を入力して、「検索」をクリックします。（未入力の項目は絞り込み条件なしとして検索されます。）



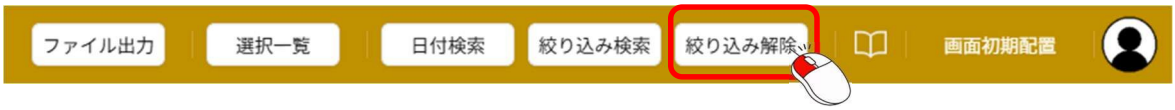
※MAFF-SAT の選択は都道府県に所属するユーザーには表示されません。

No	項目	説明
①	検索項目	検索項目を設定します。 ・年 ：被害調査を行った年を選択します。 ・被災日 ：被災日の範囲を選択します。 日付を入力するテキストボックスをクリックするとカレンダーが表示されます。 ・都道府県名 ：都道府県を選択します。 複数の都道府県を管轄するユーザーは、管轄対象の都道府県から選択できます。都道府県に所属するユーザー、もしくは、管轄する地域が単一都道府県のユーザーは、管轄する都道府県が固定で設定されます。（管轄外の都道府県の被害調査データは閲覧できません） ・管内 ：管内を選択します。 ・市区町村名 ：市町名を選択します。 ・所在地 ：所在地を入力します。あいまい検索（部分一致）が可能です。 ・工種 ：工種を選択します。 ・細分 ：細分を選択します。工種を先に選択する必要があります。 ・復旧工法 ：復旧工法を選択します。工種と細分を先に選択する必要があります。 ・箇所番号 ：箇所番号を入力します。あいまい検索（部分一致）が可能です。 ・被害額 ：被害額の範囲を千円単位で入力します。 ・コメント ：コメントを入力します。あいまい検索（部分一致）が可能です。 ・登録日 ：登録日の範囲を選択します。 日付を入力するテキストボックスをクリックするとカレンダーが表示されます。 ・登録者名 ：登録者名を入力します。あいまい検索（部分一致）が可能です。 ・更新日 ：更新日の範囲を選択します。 日付を入力するテキストボックスをクリックするとカレンダーが表示されます。 ・営農・生活への影響 ：営農・生活への影響を「有」「無」「未定」から選択します。 ・営農・生活への影響の程度 ：「軽微」「中程度」「重大」から選択します。「営農・生活への影響」で「有」を選択した場合に表示されます。 ・応急対応の必要性 ：応急対応の必要性を「有」「無」から選択します。 ・人的被害 ：「有」「無」「未定」から選択します。工種区分に「負担法施設」、細分に「地すべり防止施設」を選択した場合に表示されます。 ・住民への影響 ：「有」「無」「未定」から選択します。工種区分に「生活環境施設」を選択した場合に表示されます。 ・災害の種類 ：災害の種類を表示されるリストから選択します。 ・MAFF-SAT ：「含む」→MAFF-SAT の設定状態を考慮しない（初期値） 「のみ」→MAFF-SAT が有効の災害被害データに絞り込む 「除外」→MAFF-SAT が無効の災害被害データに絞り込む ※空白（未選択）の項目については、「絞り込み条件無し」として検索します。
②	検索ボタン	入力された条件により検索を実行し、一覧表示コンテナに検索結果を反映します。

		
③	クリアボタン 	「絞り込み検索」画面に入力されている検索条件を初期化します。 ※検索条件を初期化しただけでは、検索結果には反映されません。初期化後に検索を実行する必要があります。

2. 絞り込み解除

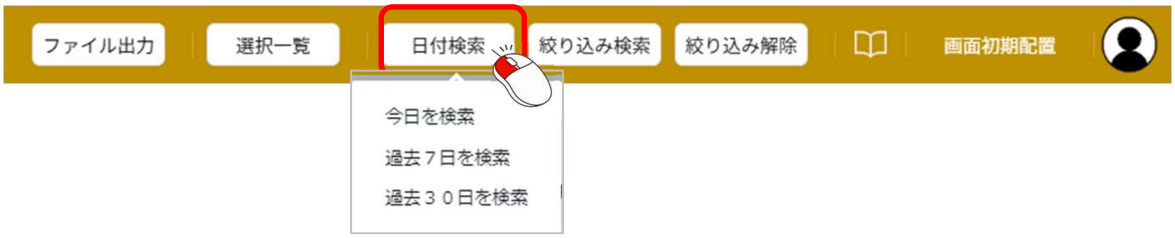
メニューの「絞り込み解除」ボタンをクリックすると、「絞り込み検索」の検索条件が初期化された状態と同じ条件で検索した結果が一覧表示コンテナに反映されます。なお、「絞り込み解除」ボタンによる検索を実行しても「絞り込み検索」に入力されている条件は初期化されません。



3. 日付検索

メニューの「日付検索」ボタンをクリックすると、「絞り込み検索」の検索条件に、以下の選択した日付範囲の条件を加えた検索が実行され、結果が一覧表示コンテナに反映されます。なお、「日付検索」ボタンによる検索を実行しても「絞り込み検索」に入力されている条件は初期化されません。

・「今日を検索」 :操作日当日に登録された被害調査データを検索します。
・「過去7日を検索」 :操作日～7日前までに登録された被害調査データを検索します。
・「過去30日を検索」 :操作日～前月同日までに登録された被害調査データを検索します。



2.2 被害調査データの選択

報告資料に出力する被害調査データを選択します。

1. 被害調査データの選択

一覧表示コンテナの被害調査情報および詳細表示コンテナの届出情報を参考にして報告資料に出力する対象を選択します。



出力対象とする被害調査データの選択における注意事項

被害調査データの左端チェックボックスで☑（選択）された状態は、「選択一覧」ボタンをクリックして表示される「選択一覧（出力）」画面の操作で対象から解除する、被害調査データの左端チェックボックスを☐（未選択）に変更する、もしくは、「初期表示」ボタンにより画面を初期化することをしない限り、一覧表示に表示されていなくても選択された状態が維持されます。（一覧表示に表示がない場合も、「選択一覧（出力）」画面から選択されている被害調査データはすべて確認できます）

出力対象とする被害調査データの選択は以下の様な手順で実施できるようになっています。

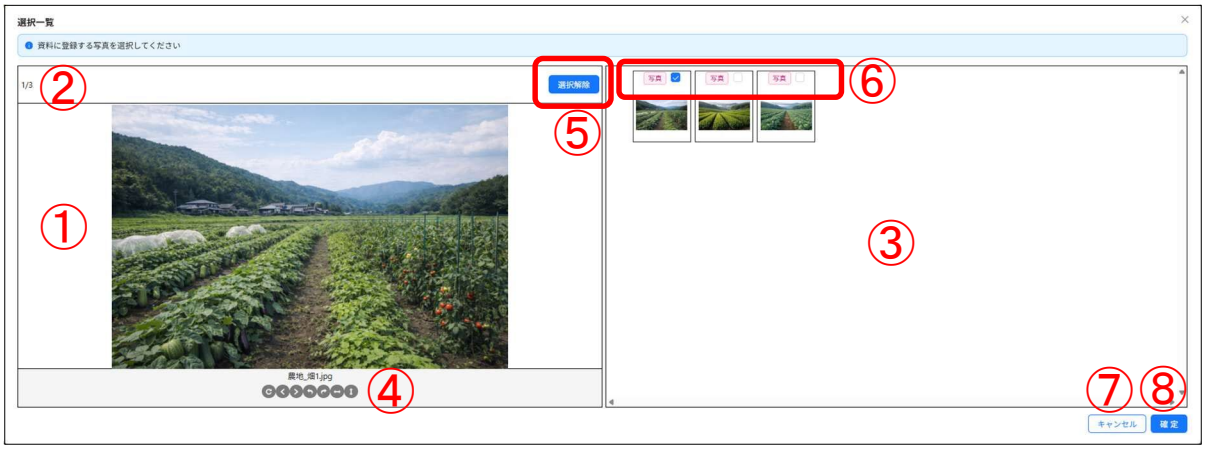
① 検索条件を入力して被害調査データを検索し、出力対象データを☑（選択）

② 上記①とは異なる検索条件を入力して被害調査データを再検索し、出力対象データを追加で☑（選択）

③ 上記①と②で選択した被害調査データを「選択一覧（出力）」画面で確認・調整後、報告書を出力する。

2. 報告資料に出力する写真の選択

報告資料に出力できる写真は 1 枚であるため、一覧表示コンテナで報告資料に出力する被害調査データを☑（選択）した際、添付されている写真が複数ある場合は、出力する写真を選択するための「選択一覧（写真）」画面が表示されます。（添付されている写真がない、もしくは、1 枚の場合、「選択一覧（写真）」画面は表示されません）



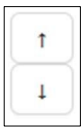
No	項目	説明
①	写真表示領域	写真一覧で選択した写真・動画が拡大表示されます。
②	枚数／総枚数 1/1	添付されている写真の枚数／総枚数が表示されます。
③	写真一覧	被害調査データに添付されている写真が一覧で表示されます。 クリックした写真が写真表示領域に拡大表示されます。
④	表示切替/表示調整	表示する写真の切り替えや表示調整を各ボタンで行います。 ※写真は表示方法が変更されるだけで、原本が編集されることはありません。 ：表示調整内容のリセット （写真のみ） ：前の写真・動画に切り替え ：次の写真・動画に切り替え ：左に回転 （写真のみ） ：右に回転 （写真のみ） ：左右反転 （写真のみ） ：上下反転 （写真のみ）

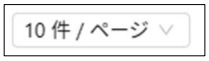
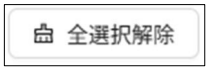
⑤	選択解除ボタン 	写真の「選択状態」ボタンをクリックすると、写真の選択状態が解除されます。 ※一覧表示の選択チェックの☑（選択）を☐（未選択）に変更した場合と動作は同じです。
⑥	選択チェック 	選択チェックをクリックして☐（未選択）と☑（選択）を切り替えます。 選択できる写真が1枚のため、☑（選択）されている写真とは別の写真を☑（選択）した場合は、☑（選択）が切り替わります。
⑦	キャンセルボタン 	報告資料に出力する写真を変更せずに「選択一覧（写真）」画面を閉じます。 ※選択しなかった場合、1枚目の写真（一覧表示コンテナに表示されている写真）が出力対象になります。
⑧	確定ボタン 	確定ボタンをクリックすると、選択している写真を報告資料に出力する写真に設定して、「選択一覧（写真）」画面を閉じます。

3. 選択した被害調査データの確認

メニューの「選択一覧」ボタンをクリックすると、一覧表示コンテナで報告資料に出力対象（左端チェックボックスを☑（選択））とした被害調査データの一覧が表示されます。



No	項目	説明
①	順番変更ボタン 	報告資料に出力する順番を入替えます。
②	出力順	報告資料に出力される順番 地図に表示される登録位置のポイントの上に表示される番号になります。
③	解除ボタン 	報告資料に出力する対象から外します。
④	写真	報告資料に出力する写真が表示されます。 複数の写真が添付されている場合は「選択一覧（写真）」画面で選択、もしくは、「変更」ボタンで変更した写真が表示されます。

⑤	変更ボタン 	報告資料に出力する写真を変更します。 「選択一覧(写真)」画面が表示されるので、出力したい写真を変更します。 (参考)【2 報告資料の作成】ー【2.2 被害調査データの選択】 ー【2.報告資料に出力する写真の選択】
⑥	表示ページ 	現在表示中のページ数を表示します。クリックすると、該当ページの情報を表示します。
⑦	表示件数/ページ 	1ページ当たりの表示件数を設定します。 初期表示時は「10 件/ページ」が設定されています。 
⑧	全選択解除ボタン 	すべての被害調査データを報告資料に出力する対象から外します。 ※出力対象が初期化(未選択)された状態になります。
⑨	閉じるボタン 	設定内容を反映し、「選択一覧(出力)」画面を閉じます。

報告資料に出力する被害調査データの確認

表示された「選択一覧（出力）」画面に表示されている被害調査データの件数や内容により、漏れや不要な情報が含まれていないか、出力したい写真が選択されているかなどを確認します。

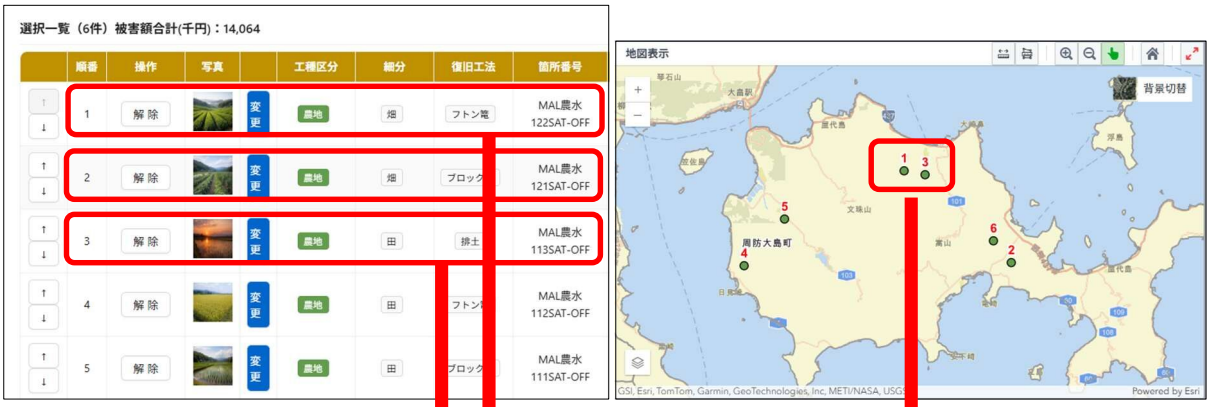


順番変更（「順番変更」ボタンクリック）

画面左端の ↑ ↓ ボタンをクリックして報告資料に出力する順番を変更します。

地図上に表示される登録位置のポイントの上に表示される番号も変更されます。

（入れ替え前）



（入れ替え後）



選択した被害調査データの地図上での登録位置の確認

報告書に出力対象として☑（選択）した被害調査データが地図上にすべて表示されているか確認します。



2.3 報告資料の出力

1. 出力内容の調整

「ファイル出力」ボタンをクリックすると、「選択一覧（出力）」画面で調整した被害調査データの出力設定で報告資料の出力プレビューが表示されます。





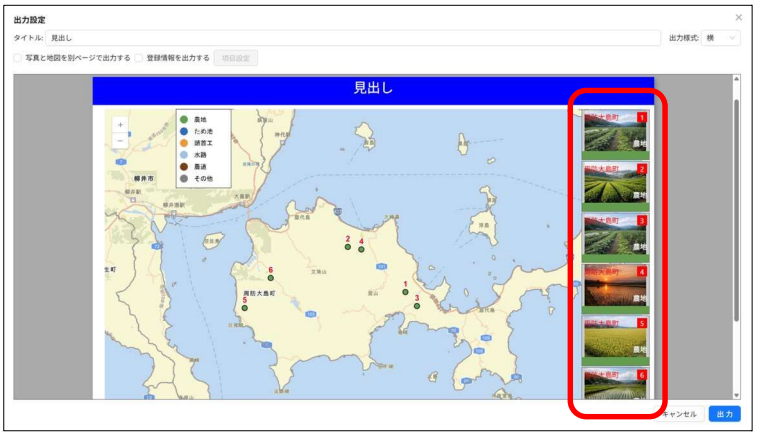
No	項目	説明
①	タイトル入力 タイトル:	報告資料の見出し行に表示するタイトルを設定します。
②	写真と地図を別ページで出力 ☐ 写真と地図を別ページで出力する	☐（未選択）の場合、報告資料の 1 ページ目に地図と被害調査データの届出情報が出力されます。 ☑（選択）すると報告資料の1ページ目は地図のみになり、2 ページ目以降に被害調査データの届出情報が出力されます。
③	登録情報を出力 ☐ 登録情報を出力する	☐（未選択）の場合、被害調査データの届出情報（写真のみ）が出力されます。 ☑（選択）すると被害調査データの届出情報（写真＋詳細）が出力されます。
④	項目設定ボタン 項目設定	「登録情報を出力する」を☑（選択）した場合に、活性化されます。 クリックすると、届出情報（写真＋詳細）に出力する詳細情報を選択できます。

⑤	出力様式 	出力用紙を横向きか縦向きか選択します。
⑥	地図表示エリア 	地図の表示位置および大きさを調整します。 ＋ボタン・－ボタンをクリックして地図を拡大・縮小できます。 マウスで地図をドラッグして動かすことで地図の位置を変更できます。 ※地図の拡大・縮小はマウスのスクロールホイールでも可能です。
⑦	届出情報	被害調査データの届出情報（写真のみ）または届出情報（写真＋詳細）が出力されます。「登録情報を出力する」の選択と「項目設定」の設定内容により出力する内容が変わります。
⑧	キャンセルボタン 	報告資料のファイル出力を中止して「出力設定」画面を閉じます。
⑨	出力ボタン 	報告資料の PowerPonit ファイルを出力します。

2.「写真と地図を別ページで出力する」の設定

「写真と地図を別ページで出力する」が□（未選択）の場合

地図と届出情報が同一ページに出力されます。



「写真と地図を別ページで出力する」が☑（選択）されている場合

1 ページ目が地図のみとなり 2 ページ目以降に届出情報が出力されます。

（1 ページ目）



（2 ページ目以降）



3.「登録情報を出力する」と「項目設定」の設定

「登録情報を出力する」が☐（未選択）の場合、届出情報（写真のみ）が出力されます。



「登録情報を出力する」が☑（選択）の場合、届出情報（写真＋詳細）が出力されます。



「登録情報を出力する」が☑（選択）の場合、表示する詳細情報を選択できます。

「項目設定」ボタンをクリックすると「出力項目設定」画面が表示されます。



左端チェックボックスを☐（未選択）に変更すると、詳細情報に出力されなくなります。

右端の「☰」をマウスでドラッグして上下に移動させると表示順を変更することができます。

報告資料への届出情報の表示数は以下の表になります。

「写真と地図を別ページで出力する」	「登録情報を出力する」	PowerPoint への届出情報の出力
□（未選択）	□（未選択）	20 件まで 1 ページ目に出力 21 件目以降は 1 ページ当たり 56 件で 2 ページ目以降に出力
□（未選択）	☑（選択）	12 件まで 1 ページ目に出力 13 件目以降は 1 ページ当たり 20 件で 2 ページ目以降に出力
☑（選択）	□（未選択）	1 ページ目には出力しない 1 ページ当たり 56 件で 2 ページ目以降に出力
☑（選択）	☑（選択）	1 ページ目には出力しない 1 ページ当たり 20 件で 2 ページ目以降に出力

4. 報告資料の出力

報告資料の出力プレビュー画面で「出力」ボタンをクリックすると、PowerPoint ファイルが作成され、以下の確認画面が表示されるので、「保存する」を選択すると、ファイルがダウンロードされます。



使用するブラウザの設定によりダウンロードがブロックされてファイルが出力できないことがあります。ブロックされた場合は、強制的にダウンロードもしくは信頼サイトに設定するなどの対応が必要です。

